

「Google Scholar 活用法」 講習会テキスト

■講習内容

- ◆Google Scholar へのアクセス、Scholar 設定
- ◆Google Scholar の検索のコツ
- ◆Google Scholar の検索結果画面の見方
- ◆その他の文献データベースの紹介 (Google Scholar との違い)

他のデータベースも
GACoS から利用可能！

◆Google Scholar とは

Google Scholar では、学術専門誌、論文、書籍、要約など、さまざまな分野の学術資料を検索できます。検索できる記事には、多岐にわたる学術出版物や学会論文のほか、ウェブ上で閲覧可能な学術資料も含まれます。(詳しくは Google Scholar 画面で「ヘルプ」をご覧ください)

※ここに注意！ Google Scholar だけで検索していると・・・

実は大学が契約している文献データベースで入手できる論文等の情報が、Google Scholar の検索対象になっていないために、見落としていたり、入手できないと思ってあきらめている可能性があるかもしれません。

そんな時は「TREE」も使ってみよう！
検索は GACoS から

【参考】東京大学で利用できるデータベースの入口

GACoS(ガコス) 【学内・学外 OK】⇒<https://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/index.html>
※TREE 画面上部にもリンクがあります。

GACoS からは、研究分野(主題)や統計などの使いたい資料タイプによって、自分にあった他のデータベースを探することができます。





文献探しは
GACoS
から

TREE

本や論文を
まとめて検索

東大の電子ジャーナル
電子ブック

東京大学 OPAC
The University of Tokyo library OPAC

HOME ASKサービス 図書館案内

東大の紙の本・雑誌

学外アクセス

学外アクセスはとちろ
SSL-VPN Gateway

学外アクセス
経路Gateway サービス
はここにをクリックしてログイン

@gacos_utokyo

文献データベース
PubMed
Web of Science
Cinii Articles
...etc.

新聞記事データベース
朝日新聞
読売新聞
pressreader
...etc.

文献管理ツール
RefWorks
Mendeley

この資料に関するお問合せ：東京大学 本部情報基盤課 [学術情報リテラシー担当]
TEL: 03-5841-2649 (内線:22649) メール: literacy@lib.u-tokyo.ac.jp

Google Scholar へのアクセス、Scholar 設定の方法

◆Google Scholar へのアクセス

【学内・学外 OK】 GACoS 定番データベース から ⇒<https://scholar.google.co.jp/>

学内からアクセスすると、東京大学で契約している電子ジャーナルから本文を入手できる
学外からアクセスすると、学内で入手できる本文が入手できないことがある

◆Scholar 設定

【検索結果に RefWorks へのリンクを表示させる】 ⇒下記①～③の手順

【検索結果に UTokyo Article Link へのリンクを表示させる】 ⇒下記①, ④～⑦の手順

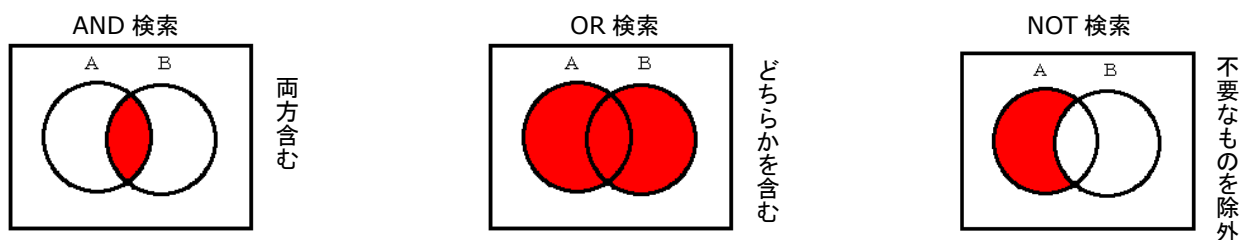
The image shows a sequence of three screenshots from the Google Scholar settings page, illustrating the steps to configure search results. Red boxes and arrows highlight specific elements, and numbered circles (①-⑦) indicate the order of steps.

- Step 1:** The '設定' (Settings) gear icon in the top-left navigation menu is highlighted with a red box and labeled ①.
- Step 2:** In the '設定' page, the 'BibTeX', 'EndNote', 'RefMan', and 'RefWorks' options under '結果ウィンドウ' (Result window) are shown. 'RefWorks' is highlighted with a red dashed box and labeled ②.
- Step 3:** The '文献情報マネージャ' (Bibliography manager) section is shown. The radio button for 'BibTeX への文献取り込みリンクを表示する' (Show link to import into BibTeX) is selected and highlighted with a red box, labeled ③.
- Step 4:** The '図書館リンク' (Library link) section is highlighted with a red box and labeled ④.
- Step 5:** The search input field for library links is highlighted with a red box and labeled ⑤.
- Step 6:** The checkbox for '東京大学 University of Tokyo - Full text @ UTokyo' is checked and highlighted with a red box, labeled ⑥.
- Step 7:** The '保存' (Save) button at the bottom right is highlighted with a red box and labeled ⑦.



※RefWorks とは？ ⇒GACoS FAQ「RefWorks を使うには？」
<https://www.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gacos/faq/refw.html>

Google Scholar の検索のコツ



入力例 ※原則として、記号は半角で入力。OR は半角大文字で入力。

キーワードの間にスペースを入れる。

・AND 検索 ips cells

“ ” の有無で検索結果がどのように変わるか見比べる。

・フレーズ検索 "ips cells"

OR で検索漏れを防ぎ、検索の幅を広げる効果あり。
OR の前後にはスペースを入れる。

・OR 検索 "ips cells" OR ipscs OR "induced pluripotent stem cells"

マイナス記号の後ろにはスペースを入れない。

・NOT 検索 "ips cells" -yamanaka



※分野ごとの文献データベースでは、専門家が論文の内容に合った主題キーワードを付けているので、単なるキーワード検索ではなく、論文に書かれている内容の主題でも探せるようになっている。(⇒p.8で分野ごとのデータベースを紹介)

たとえば、PubMed(世界最大の医学系文献データベース)では、入力したキーワードだけでなく、PubMed で用意されている用語集の中に対応する主題キーワードがあれば、それも含めて自動的に OR 検索される。

Google Scholar では、自分で "induced pluripotent stem cells" のような同義語との OR 検索を入力する必要がある。

・著者検索

author:yamanaka
author:"s yamanaka"
author:"shinya yamanaka"

: の記号の後ろにはスペースを入れない。
フルネームよりイニシャルの方が検索漏れを防げる。

・論文タイトル検索

intitle:"ips cells"

論文タイトルを知っていれば、タイトル全体をフレーズ検索にするのが早い。

intitle:"Induction of pluripotent stem cells from mouse embryonic and adult fibroblast cultures by defined factors"

※複数の著者名や複数の論文タイトル(内の言葉)の組み合わせで検索する時は、著者名や論文タイトル内の言葉ひとつひとつの前に「author:」「intitle:」をつける。

例: author:"s yamanaka" OR author:"k takahashi"

※キーワードと著者名などを組み合わせて複雑な検索を行う時は、検索がうまく行われない場合があるので注意。

例: "ips cells" ⇒検索結果 約 24,200 件(2019 年 1 月現在)

例: "ips cells" -author:"s yamanaka" ⇒検索結果 約 30,300 件(2019 年 1 月現在)

Google Scholar の検索結果画面の見方

検索結果から、日付や言語で更に絞り込み
(絞り込みが不完全な場合もあり。p.7 も参照)

(画面は 2019 年 1 月 23 日現在のもの)

期間指定なし
2019 年以降
2018 年以降
2015 年以降
期間を指定...

関連性で並べ替え
日付順に並べ替え

すべての言語
英語 と 日本語のページを検索

特許を含める
 引用部分を含める

アラートを作成
p.7 参照

[HTML] Induction of pluripotent stem cells from adult human fibroblasts by defined factors
K Takahashi, K Tanabe, M Ohnuki, M Narita, T Ichisaka... - cell, 2007 - Elsevier
Successful reprogramming of differentiated human somatic cells into a pluripotent state would allow creation of patient-and disease-specific stem cells. We previously reported generation of induced pluripotent stem (iPS) cells, capable of germline transmission, from ...
☆ 99 引用元 16154 関連記事 全 57 バージョン Web of Science: 9760 RefWorks に取り込む

[引用] Induction of pluripotent stem cells from adult human fibroblasts by defined factors [see comment]
K Takahashi, K Tanabe, M Ohnuki, M Narita, T Ichisaka... - Cell, 2007
☆ 99 引用元 16154 関連記事 全 57 バージョン Web of Science: 9760 RefWorks に取り込む

[引用] ⇒他の学術記事が言及または引用している記事。クリックできないのは Web 上で見つからなかったことを意味する。「引用部分を含める」のチェックを外すと表示されなくなる。

[HTML] sciencedirect.com
Full text @ UTokyo

出版社のリンク、または UTokyo Article Link (次ページ参照)で本文を入手(設定は p.2 参照)

Full text @ UTokyo

Full text @ UTokyo

Full text @ UTokyo

クリックして出版社等のサイトへ(本文入手)

[HTML] Induction of pluripotent stem cells from adult human fibroblasts by defined factors
K Takahashi, K Tanabe, M Ohnuki, M Narita, T Ichisaka... - cell, 2007 - Elsevier
Successful reprogramming of differentiated human somatic cells into a pluripotent state would allow creation of patient-and disease-specific stem cells. We previously reported generation of induced pluripotent stem (iPS) cells, capable of germline transmission, from mouse somatic cells by demonstrating the generation of iPS cells from adult human dermal fibroblasts with the same four factors: Oct3/4, Sox2, Klf4, and c-Myc. Human iPS cells were similar to human ...
☆ 99 引用元 16154 関連記事 全 57 バージョン Web of Science: 9760 RefWorks に取り込む

著者、出版物名、出版年、出版社等、論文の一部分

- ☆ ⇒マイライブラリ(p.7 参照)への保存
- " ⇒CSV、BibTeX で引用を表示 (EndNote への保存も可)
- 引用元 ⇒この論文を引用している論文
- 関連記事 ⇒関連性が高いと自動的に判断された論文
- バージョン ⇒同じ内容の論文が複数のサイトで読める場合、他のバージョンへのリンク
- Web of Science ⇒東大が契約している Web of Science コアコレクションへのリンク(数字は被引用数)
- RefWorks に取り込む ⇒著者名やタイトル等の論文情報を RefWorks に保存
(RefWorks のアカウント作成が必要)

(参考)「UTokyo Article Link」の使い方

CiNii Articles 等の文献検索ツールを検索した時に、本文へのリンクが無い場合は、「UTokyo Article Link」ボタンをクリックしてください。検索している論文を、東京大学で利用できる電子ジャーナルや東京大学 OPAC で探してくれるサービスです。



Full text @ UTokyo



各種データベースで表示される「UTokyo Article Link」ボタン や「Full text@UTokyo」リンク を押すと本文が読めるサイトへジャンプする。

the University of Tokyo
UTokyo Article Link

学外アクセス | 論文を探す (TREE) | データベースを探す (GACoS) | 附属図書館ホ

文献データベースの検索結果から、本文へ
★利用上の注意をご覧ください。
★障害情報はこちらをご覧ください。

電子ジャーナルで本文が入手できない場合にも、その他のリンクが表示され、そこから入手できる。

検索結果:

論文:	Preface to the English-language Edition of Seminar XI		
著者:	Lacan, J		
ジャーナル:	FILOZOFSKI VESTNIK		
ISSN:	0353-4510	日付:	2010/01/01
巻:	31	号:	1
		ページ:	37 - 39

引用: [Eメール](#) または [エクスポート/保存](#)

お探しのジャーナルは見つかりませんでした。

2. 電子ジャーナルへのリンクがない場合はこちらへ / Additional Options for finding Full Text

字内の紙の雑誌の所蔵を調べる (東京大学 OPAC) / Search a Paper Journal (UTokyo OPAC) | [番号で検索 \(By ISSN/ISBN\)](#) | [タイトルで検索 \(By Journal/Book Title\)](#)

他大学から論文のコピーを入手する (MyOPAC) / Get a Photocopy from Other Universities (MyOPAC) | [文献複写を申込む](#) | [Interlibrary Loan Request](#)

3. 他の情報資源 / Other Resources

Google Scholar | CiNii | PubMed | OAIster | JAIRO

その他のオンライン情報源で見られる場合もある。OAIster、JAIRO は海外・国内の機関リポジトリの横断検索。機関リポジトリとは: 研究機関が研究成果(論文等)を公開しているサイト。

By Article Title | By 1st Author

東京大学 OPAC
The University of Tokyo Library OPAC

HOME ASKサービス 図書新着案内 | 附属図書館 データベース 論文検索(T)

検索結果一覧に戻る

印刷 | メール送信 | RefWorks出力 | EndNote 出力 | Mendeley出力

<雑誌>
Filozofski vestnik / Slovenska akademija znanosti in umetnosti, Znanstvenoraziskovalni center SAZU, Filozofski inštitut

所蔵情報を非表示
本場キャンパス

配架場所	所蔵巻号	年次	請求記号	コメント

MyOPAC ログイン

東京大学 OPAC で紙の所蔵を調べる。

所蔵先が見つかったら
取寄せはここから!
⇒次ページへ

(参考)「MyOPAC」の使い方

MyOPAC にログインすると、コピーの取寄、PDF 閲覧の申込、返却期限の延長、貸出中の圖書の予約・取寄、図書購入希望の申込ができます。



★MyOPAC には
UTokyo Account
または
図書館アカウント でログイン。
学外からもログインできます。

MyOPAC の画面例

<雑誌>
New England journal of medicine

他大学から取寄 **有料**

印刷 **有料**

メール送信

RefWorks出力

EndNote 出力

Mendeley出力

ブックマーク

他の検索サイト
Webcat Plus
Google

所蔵巻号をクリックすると、詳細がこの画面の下の方に表示されます。
本郷キャンパス

配架場所	所蔵巻号	年次	請求記号	コメント	コピー申込	PDF申込
医図・書庫	304-338,339(1-8,10-27),340-373	1981-2015		新着は1F閲覧室	有料 コピー	PDF

柏キャンパス

配架場所	所蔵巻号	年次	請求記号	コメント	コピー申込	PDF申込
拍図・書庫	198(1-19),199-206,210(8,11-15,17-19,23-26),211(1-1	1928-1996			コピー	PDF

MyOPAC 文献取寄サービス【有料】

ボタンをクリックすると申込画面へ。
※事前申請が必要(所属学部図書館へ)



他キャンパスにあるなら
紙のコピーで取寄可能。



必要なページだけスキャンした PDF
ファイルを学内からのみ閲覧可能。



東大で所蔵してなくても
他大学にあれば取寄可能。

【MyOPAC 文献取寄
サービス利用申請書】

これ1枚!

有料のサービスを利用するにはあらかじめ申請が必要

★雑誌の場合は必ず所蔵巻号を確認する
(年次は、所蔵巻号の最初と最後の記録のみです)

所蔵巻号の見方:

(例)304-338

→304 巻(または号)から 338 巻(または号)までは全部所蔵している

(例)339(1-8,10-27),340-373

→339 巻は 1-8 号と 10-27 号しか所蔵していない(つまり 9 号は所蔵していない)が、340 巻から 373 巻までは全部所蔵している

【MyOPAC から本の予約・取寄をする】

配架場所	巻次	請求記号	登録番号	状態	文庫区分	刷年	コメント	コピー申込	PDF申込	予約/取寄
駒場図・3F開架		816.5:W46	3013665744	貸出中 [2016.10.05返却期限]						無料 予約/取寄

所蔵館と請求記号をメモして図書館へ。

MyOPAC 予約/取寄サービス【無料】

貸出中なら予約可能。他キャンパスから取り寄せて借りることも可能。

MyOPAC を使ったら、最後は必ず、ブラウザを閉じて終了!

【Scholar 検索オプション画面】

※検索オプション画面で、出版物名の指定や日付の指定などができるようになっていますが、不完全または正確でない場合があるため、検索オプション画面の利用はあまりおすすめしません。




【その他のオプションサービス】



【メールアラート機能】 同じ検索式を毎回入力する手間を省きたい方へ指定した検索式で最新の論文が出たらメールで教えてもらう。

* Google アカウントを持っていない場合でも利用可能。

- 1) アラートを受け取りたい検索式を入力して検索。
- 2) 検索結果画面で、「アラートを作成」アイコンをクリック。(p.4 参照) ⇒  アラートを作成
- 3) アラートを受け取りたいメールアドレスを入力。
- 4) 画面表示に従って操作する。
- 5) 確認メールが届くので、メール内のリンクをクリックしてリクエストを確認すると完了。
- 6) 登録した検索式での最新論文が出るとメールが届く。



※「この論文が新たに引用されたら、アラートを受け取りたい」という場合は？

⇒その論文を検索して検索結果画面に表示させ、タイトル下方にある「引用元の数字」をクリック後の画面で、「アラートを作成」をクリック(以降の操作は上記と同じ)。

あるいは、Web of Science コアコレクション(p.8 参照)の収録論文であれば、Web of Science コアコレクションの「引用アラート」サービスがおすすめ。

⇒Web of Science コアコレクションを検索して論文タイトルをクリックし、詳細画面右側の[引用アラートの作成] をクリック。※Web of Science のユーザ登録が必要(詳細は「ヘルプ」参照)。



【タグ(ラベル)を付けて整理、保存できる機能:「マイライブラリ」】

* Google アカウントが必要。

- 1) Google アカウントでログインする。
- 2) 検索結果画面で、保存したい論文のタイトル下方にある「☆」をクリックするとマイライブラリに保存される。
- 3) 画面右上の「マイライブラリ」をクリックすると保存した論文の一覧が表示される。
- 4) 論文整理用のタグは、マイライブラリ画面で左側の「ラベルを管理」をクリックしてから、「新しいラベルの作成」をクリック。タグの編集(ラベル名変更)も「ラベルを管理」画面から行うことができる。
- 5) 保存した論文にタグを付けるには、マイライブラリ画面で論文タイトルのチェックボックスをクリック後、画面上部ラベルのアイコンからラベルを選択、または新しいラベルを作成する。
マイライブラリからの論文削除やファイルへの保存等も画面上部のアイコンから行う。

その他の文献データベースの紹介

★いずれも、検索結果から UTokyo Article Link が使えます (PubMed は東大専用入口であれば可能)。

Web of Science コアコレクション 【英語論文】 (全分野)

【学内から】GACoS「定番データベース」から ⇒<https://www.webofknowledge.com/wos>

【学外から】SSL-VPN Gateway サービス or 認証 GW サービス

【内容】厳選された世界の主要な学術雑誌の掲載論文を収録。論文の被引用数など引用関係の情報が充実しており、「ある論文を引用した論文」や、「ある論文と引用文献が共通している別の論文」を探することができる。

PubMed(医学系分野) 【英語論文】

【学内から】GACoS「PubMed」でキーワード検索

⇒<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed?otool=ijputmlib>【東大専用入口】

【学外から】(無料公開)<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed>

(東大専用入口)SSL-VPN Gateway サービス or 認証 GW サービス

【内容】世界最大の医学系文献データベース MEDLINE の無料公開版。

CiNii Articles(全分野) 【日本語論文】

【学内・学外 OK】GACoS「定番データベース」から ⇒<https://ci.nii.ac.jp/>

【内容】日本国内で発行された学術論文、学協会誌、大学の研究紀要を中心とした論文情報データベース。

その他、GACoS(p.1)から主題や資料タイプなどで探してご利用ください。

(例) ・経済学/経営学: Business Source Complete、eol ・心理学: PsycINFO ・教育学: ERIC
 ・工学: Engineering Village ・化学: SciFinder ・海外新聞/ニュース: LexisNexis Academic
 ・統計データ: OECD iLibrary など



【Google Scholar と他のデータベースの違い】

・検索支援機能の違い(絞り込み機能や、論文の主題キーワードの付与など)

(例) Google Scholar は関連度などを考慮した独自のランクづけで結果を表示する。

(例) PubMed では、`ips cells` で検索すると、自動的に以下のような検索式が実行される。(p.3 参照)

"induced pluripotent stem cells"[MeSH Terms] OR ("induced"[All Fields] AND "pluripotent"[All Fields] AND "stem"[All Fields] AND "cells"[All Fields]) OR "induced pluripotent stem cells"[All Fields] OR ("ips"[All Fields] AND "cells"[All Fields]) OR "ips cells"[All Fields]

・被引用数の違い (数字は 2019 年 1 月 23 日現在のもの)

(例) "Induction of pluripotent stem cells from mouse embryonic and adult fibroblast cultures by defined factors"

⇒Google Scholar では「引用元 20,868」

⇒Web of Science コアコレクションでは「被引用数 12,289」

※Web of Science コアコレクションは厳選された主要学術雑誌の掲載論文を収録

・検索対象の違い

(例) Google Scholar は全文まで検索する。

⇔Web of Science コアコレクション、PubMed、CiNii Articles は抄録まで検索。

メリット: 入力したキーワードが本文にしか出てこない場合でもヒットする。

デメリット: ノイズが多い。

・RefWorks への取り込み方法の違い

⇒Google Scholar では1件ずつ取り込む作業が必要(マイライブラリからファイルを作成し、まとめて取り込むことは可能。Google アカウントが必要)。

⇒Web of Science コアコレクション、PubMed、CiNii Articles では複数まとめて RefWorks へ取り込める。